

協働事業に関する提案書

令和 5年 1月 13日

（あて先）狭山市長

団体名 狭山遊糸会

所在地

代表者名 野本 照子

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織」の普及啓発と再現
3 事業期間	令和5年4月1日から令和6年2月末日
4 事業種別	継続事業
5 事業予算	総額 200,000円（内補助金申請額 100,000円）
6 事業概要	子供達に昔狭山で盛んだった織物を、毛糸などを使用して体験してもらい郷土愛の醸成を図ります。 また広瀬斜子織を広く市民に知ってもらおうと同時に、広瀬斜子織に関する織機整備や技術習得、情報収集により再現を目指します。
7 希望する担当課	社会教育課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）

協働事業に関する企画書

団体名 狭山遊糸会

1 事業名	ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織」の普及啓発と再現
2 事業の詳細	<p>◎市民を対象にした普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬斜子サロン・織物体験講座の開催、文化祭等で企画展示、情報発信 * 織物体験講座では子供達に扱いやすい糸で平織りを体験 <p>◎技術向上と再現の準備、発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬斜子織再現に向けての調査・研究発表
3 実施体制	狭山遊糸会会員を中心に実施（2023年1月現在23名）
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <p>◎市民向けイベント・会員向け研修の企画・実行</p> <p>◎技術向上と織り機・道具の整備 ◎関連情報の発信・収集</p> <p>◎自立に向けた自主財源確保の検討、協力者との連携模索</p> <p>* SDGs、協働事業の目的に照らし合わせながら、提案団体としての役割を果たしていきます。子供達が自分で糸を選び、自分で織機を操作することで、世界に1つだけの作品を造ることができます。そこから造ることの楽しさと、自分で織った物を大切にするという気持ちが生まれると考えています。よって「買うー捨てる」とは違う、「造るー再利用」の感覚を身につけるキッカケとなる、子ども向け織物体験を積極的に進めたいと考えます。</p> <p>【市の役割】</p> <p>◎市管轄媒体での告知やパンフレット配布等で、広瀬斜子織の周知活動</p> <p>◎市主催イベント、公共施設等での成果の公開</p> <p>◎情報の提供・共有 ◎経費支援</p>
5 協働の効果	<p>◎市の発信力や、市民への信頼感を得ることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬斜子織の周知が推進され、再現完了、体験会開催につながります。 ・情報収集、技術発掘につながります。 ・各種イベント企画が容易になります <p>その結果、郷土愛の醸成、及び製品化による地元名産品の創造が可能となりまちおこしにもつながっていくと考えます。</p>
6 事業の アピールポイント	広瀬斜子織は、地元出身の清水宗徳が深く関わり、社会科の副読本にも掲載されています。狭山市民全体の財産である広瀬斜子織の普及啓発・再現は今が最後のチャンスと考えます。

